

2023 年 4 月
在グアテマラ日本国大使館

《ポイント》

- 6 月 25 日の総選挙（大統領・副大統領、国会議員、市長・市議会議員、中米議会議員）に向けての候補者登録期間が 3 月 26 日に終了し、翌 27 日から選挙戦が開始した（選挙キャンペーン期間：3 月 27 日～6 月 23 日）。大統領・副大統領候補として登録されたのは 23 組。
- 大統領選に関しては、2 月に公表された CID Gallup 社の世論調査では、スリー・リオス候補（バロール党・統一会派党連合、右派）が最も支持を集めたが、3 月の Opina Consultoria Estrategica 社の調査では、同候補は 3 位、代わってサンドラ・トーレス候補（国民希望党、中道左派）が 1 位となった。
- 経済関係では、国際通貨基金（IMF）調査団が当国を訪問し、4 条協議が行われた。IMF は 2022 年のグアテマラ経済は安定的であったと評価、今後の見通しも良好とする一方、税制改革、新たな金融政策、構造改革等が今後必要であると指摘した。
- 外交面では、ホンジュラスの台湾から中国への国交切り替えの動きを受けて、グアテマラ政府として公式声明を発出、台湾支持を改めて強調した。3 月 31 日には蔡英文台湾総裁は当国を公式訪問。ジャマテイ大統領との首脳会談、共同記者会見に臨んだ。

1 内政・経済

（1）2023 年総選挙：選挙戦の開始

ア 選挙キャンペーンの開始

本年 6 月 25 日に投票が行われる当国総選挙（大統領選挙、国会議員選挙、市長選挙、市議会議員選挙、中米議会議員選挙）に関し、3 月 26 日に候補者登録が締め切られ、27 日から投票日前々日の 6 月 23 日までの約 3 か月間の選挙戦が開始した。選挙の主な争点として、子どもの栄養問題を含む保健医療、雇用、治安、教育、移民、道路などのインフラ整備等が挙げられている。

イ 最高選挙裁判所（TSE）にて登録済み立候補者数（3 月 26 日付）

- ① 大統領・副大統領候補・・・23 組〔46 人〕
- ② 国会議員：全国区・・・354 人〔定数：32〕
- ③ 国会議員：地方区・・・1,703 人〔定数：128〕
- ④ 市長及び市議会委員・・・26,810 人〔計 340 市、市議会議員定数：計 3,794〕
- ⑤ 中米議会議員・・・186 人〔定数（グアテマラ枠）：20〕

ウ 選挙人登録

3 月 25 日に選挙人登録が締め切られ、937 万 1503 名が選挙人として登録された。うち 506

万 1,127 名 (54.01%) が女性、431 万 376 名 (45.99%) が男性。今後、登録者データの精査が行われ、最終的な選挙人登録リストは 4 月 20 日に完了する。

(2) 大統領選 : Opina Consultoria Estrategica社による世論調査結果

13日付当地主要紙エル・ペリオディコは、メキシコの民間調査会社Opina Consultoria Estrategicaによる、2023年グアテマラ大統領選挙（第一回投票：6月25日）に関する世論調査の結果を報じた（実施者：Opina Consultoria Estrategica社、データ収集期間：2023年2月20日～25日、対象者：グアテマラ国内15県（22県中）に居住する18歳以上の成人1,600人、形式：対面式インタビュー）。

〔質問1：次期グアテマラ大統領になって欲しいのは誰か。〕

〔回答〕

- | | |
|---|-------|
| ①サンドラ・トーレス〔国民希望党(UNE)、中道左派〕 | 14.9% |
| ②エドモンド・ムレット〔カバル党(Cabal)、中道右派〕 | 10.4% |
| ③スリー・リオス〔バロール党・統一会派党連合(Valor/Unionista)、右派〕 | 10.1% |
| ④マヌエル・コンデ〔バモス党(Vamos)、与党、右派〕 | 5.4% |
| ⑤アルフォンソ・ポルティージョ元大統領 | 2.1% |
| ⑥ナジブ・ブケレ・エルサルバドル大統領 | 1.8% |
| ⑦その他 | 14.8% |
| ⑧該当者なし | 16.3% |
| ⑨分からない | 17.3% |
| ⑩無回答 | 6.9% |

〔質問2：今日が投票日だとしたら、どの政党に投票するか。〕

〔回答〕

- | | |
|------------------------|-------|
| ①国民希望党(UNE)〔中道左派〕 | 14.4% |
| ②カバル党(Cabal)〔中道右派〕 | 9.1% |
| ③バロール党(Valor)〔右派〕 | 7.4% |
| ④バモス党(Vamos)〔右派、与党〕 | 6.8% |
| ⑤市民繁栄党(PC)〔中道右派〕 | 2.6% |
| ⑥国民集中戦線(FCN)〔右派、前政権与党〕 | 2.0% |
| ⑦その他 | 19.6% |
| ⑧該当なし | 23.3% |
| ⑨分からない | 8.5% |
| ⑩無回答 | 6.3% |

(3) 大統領候補等の立候補資格に関する憲法裁判所の決定

2日、憲法裁判所(CC)は、4組の大統領・副大統領候補の立候補資格に対して提出されていたそれぞれの異議申し立てを棄却した。これにより、スリー・リオス氏(バロール党・

統一会派党連合(Valor/Unionista)、右派)及びサンドラ・トーレス氏(国民希望党(UNE)、中道左派)の立候補者登録は認められ、テルマ・カブレラ氏(国民解放運動党(MLP)、急進左派)及びロベルト・アルスー氏(ポデモス党(Podemos)、右派)の立候補者登録は認められなかった。カブレラ氏は、同党副大統領候補の公金取り扱いを巡る手続き、また、アルスー氏は、法令上禁止されている事前選挙キャンペーンを行ったこと等が問題とされていた。

(4) 検察庁によるムレット大統領候補の不逮捕特権の剥奪請求

昨2022年7月に逮捕された反政府系主要紙エル・ペリオディコ紙のサモラ社主(客年往電第1027号)の司法妨害事件を巡り、ムレット候補は、3月6日、関連のジャーナリスト等を擁護する旨の記者会見を行い、検察庁及び人権擁護事務所へ書簡を送った。これが司法妨害への共謀及び司法関係者への脅迫にあたるとして、3月21日、検察庁無処罰問題対策専門局(FECI)は、ムレット候補の(大統領候補として有する)不逮捕特権の剥奪請求を行った。

(5) 国際通貨基金(IMF)との4条協議

IMFとの4条協議が2月28日から3月13日に行われた。IMFは、2022年は世界情勢が不安定であったにもかかわらず、グアテマラ経済は強靱性を示し、マクロ経済の成長、金融システムの安定をもたらしたと評価した。経済見通しは引き続き良好であり、その他、海外からの郷里送金や民間セクターへの融資が堅調な個人消費を支え、経済成長を促進、外貨保有高を改善させたと評した。他方、税制改革、新たな金融政策、構造改革等が今後必要であると指摘した。

(6) 海外からの郷里送金の増加

2023年1月及び2月の海外からの郷里送金は合計27億6,760万ドルで、前年比13.3%増加。

(7) グアテマラの法の支配の低下に対する懸念

30日、国連高等人権弁務官事務所は、グアテマラで司法関係者やグアテマラ無処罰問題対策国際委員(CICIG)元職員、ジャーナリスト等に対する嫌がらせや脅迫、逮捕等が起こっており、法の支配が低下していると懸念を表明した。同事務所は、グアテマラ政府に対し、グアテマラの判事や弁護士等が自由に職務を遂行できるよう保証することを求め、民主主義において独立した司法制度が重要であると述べた。

(8) その他(公衆衛生関連)

ア グアテマラの新型コロナウイルス感染状況

検査実施数が少ない週末・祝日の一時的な低下を除き、3月上旬の新規感染者数は約200~300件/日で推移。月末にかけて増加し、3月下旬は約400~500件/日で推移したが感染状況全体としては落ち着きを見せた。

「アラート信号」システム

期間	赤	橙	黄	緑
2月20日～3月5日	0市	55市	285市	0市
3月6日～19日	0市	49市	290市	1市
3月20日～4月2日	0市	49市	291市	0市

注：2020年7月27日から開始された「アラート信号」システムに関する詳細は当館 HP (https://www.gt.emb-japan.go.jp/itpr_ja/border20200331.html) を参照。

イ サル痘の発生状況

28日、保健省はこれまで合計404例のサル痘患者を確認した旨発表した。うち4例が女性であり、396例の回復が確認された。

2 外交

(1) ウクライナ外務次官の当国訪問

2月28日及び3月1日、メルニク・ウクライナ外務次官が当国を訪問し、ジャマティ大統領やブカロ外相を表敬したほか、パルマ当国外務次官との間で政策協議を行う等した。

(2) 台湾関係

ア グアテマラ政府の台湾支持表明（公式声明の発出）

15日、グアテマラ政府は、ホンジュラスによる中国への国交樹立の動きを受けて、公式声明を発出。新ためて中華民国（台湾）政府への連帯と全面的な支持を強調し、民主的価値と相互尊重を共有する台湾を独立国家として認識していることを表明した。加えて、グアテマラと台湾は素晴らしい政治・外交関係と強固な友好関係を有し、台湾はグアテマラにとって唯一かつ真の中国であるとした。

イ 蔡英文台湾総統のグアテマラ訪問

31日、台湾の蔡英文総統は当国を公式訪問し（3月31日～4月2日）、同日、国立文化宮殿においてジャマティ大統領と首脳会談を行った後、共同記者会見に臨んだ。共同記者会見でジャマティ大統領は、これまでの台湾による援助に謝意を表明した上で、国際法の原則、基本的価値、自由、人権、民主的パートナーといった言葉を多用しながら、台湾の主権・領土を支持する立場を強調。蔡総統は、グアテマラによる国際場裡の様々な機会での台湾支持の表明、ウクライナ支持・訪問等を高く評価し、謝意を表明した。

ウ 台湾の対グアテマラ協力

(ア) 国立サン・フアン・デ・ディオス病院小児病棟の増築

台湾からの430万ドルの無償資金協力により、国立サン・フアン・デ・ディオス病院の小児救急病棟増築が行われ、10日引渡し式が実施された。引渡し式には、コマ保健大臣、曹

台湾「大使」が出席した。

(イ) 農業分野への援助

9日、当地台湾「大使館」と農牧食糧省は、バハ・ベラパス県におけるトウモロコシの増産事業実施のための合意文書に署名した。同事業では、230万米ドルの無償資金援助を通じ、生産技術の改善や販路拡大のための取り組み等が予定される。

(ウ) ビジネスラウンドテーブルの開催

16日、グアテマラ・台湾ビジネスラウンドテーブルがグアテマラ市内のホテルで開催された。曹台湾「大使」は、「2022年のグアテマラの対台湾輸出は1.45億ドル、前年比59%増加し、台湾からの輸入は32%増加した。グアテマラは天然資源や原材料を輸出し、台湾は機械類を輸出している。両国の経済は相互補完的な関係にある。」と述べた。

(3) 第28回イベロアメリカ・サミット

ア ジャマティ大統領の録画ビデオによる演説

ジャマティ大統領は、コロナ禍やその他世界危機による影響に立ち向かうため、イベロアメリカ地域の団結が重要であると強調。また、ウクライナに対する「違法で不当且つ根拠のない攻撃」について「地域として無関心であってはならない」と呼びかけた。

イ 二国間外相会談

ブカロ外相は、アンドラ及びエクアドルとの二国間外相会談を行った。

《経済指標》

◇主要経済指標◇	2023 年			2022 年	2021 年
	1 月	2 月	3 月		
インフレ率（前年同月比）	9.69%	9.92%	8.71%	9.24%	4.28%
貿易収支（百万ドル）	△1,410	未発表	未発表	△16,437	△12,987
輸出（百万ドル）	1,156.9	未発表	未発表	15,684.3	13,620.7
輸入（百万ドル）	2,567.6	未発表	未発表	32,121.8	26,607.8
外貨準備高（百万ドル）	20,139.4	20,047.1	未発表	20,019.8	20,939.6
外国からの送金（百万ドル）	1,386.5	1,381.1	未発表	18,040.3	15,295.7
為替レート（対ドル月平均）	7.85	7.81	7.80	7.75	7.73

（出典：中銀、国立統計院）